



平成29年度 10月号 No.7

きな粉団子に挑戦！

10月25日（水）のおやつは、きな粉団子でした。この日の年長児のおやつを、自分たちで作ってもらいました。

団子の生地を一人分ずつ配り、自分の好きな形の団子を作ってもらいました。作り始めは、どんな形を作ったらいいのか分からず戸惑っている子もいましたが、周りの友達を見ながら自分なりの形を作っている子もいました。中には、マグロや魚を作っている男の子や、ケーキを作り細かな飾りまで細工している女の子がいて、どれも力作ばかりでした。

湯がく作業まで、自分たちでしてもらいました。沸騰したお湯に団子を入れる時は、「優しく入れてね。熱いお湯がみんなの手に飛ぶからね。」と言っていたのですが、お湯の湯気が熱いため、投げていたりしている子もいましたが、「優しくよ。」と声掛けながら一緒に入れてやると上手に入れることができました。

個性豊かでいろんな形がありましたが、形が崩れることなく上手に茹で上がりました。自分たちで作った団子は、特別の味だったようで、友達に見せながら嬉しそうに食べていました。



骨付きサンマ食べたよ！



10月から、焼きサンマを取り入れました。みんなサンマは、大好きで良く食べてくれます。年長児は、小学校の進級に向けて、骨付きのサンマを食べてもらいましたが、半数の子どもたちが、家庭で骨付きを食べているということもあり、上手に食べられていました。

来月からも、取り入れていきますので、ご家庭で機会があれば、お子さんと一緒に食べ比べてみて下さい。

絵本から飛び出したおやつ



～あらすじ～

どんぐりむらのパンやさんは、行列のできる人気店。でも、パン屋のパパ・ママには、ある仕事の悩みが……。仕事と子育ての両方を頑張るパパ・ママとけなげな子どもたちのあったかい家族の物語です。

年に一度のどんぐりむらのはんやさんですが、年中児や年長児は、話の内容を覚えている子どもも多く、「今日のおやつは、どんぐりの形をしたやつやろ？」と話をしながら、期待を膨らませていました。また、3歳未満児にとっては、絵本の話が長いので、省略しながら読んでもらいましたが、どんぐりパンの絵を見て指さしたりする仕草もあり、興味津々で絵本を見ていました。

おやつの時間になり、配膳を始めると、「どんぐりと同じだ！」「すごい！」という声が多く、早く食べた子どもたち。サクサクした帽子にふんわりした実の食感のどんぐりパンは、子どもたちにも大人気で、「うわぁ。どんぐりパンだ。これ好き。」と喜んでいる子どもや手を叩いて喜んでいる1歳児もいました。お替わりもたくさんあり、好きな子の中には、3個食べている子もいて、職員よりも食欲旺盛で食欲の秋を感じました。また、園庭にもどんぐりが落ちているため実際のどんぐりと見比べることもでき、体いっぱい秋を感じることができました。

